

ショパールのキャロライン・ショイフレと若き起業家神原伸太郎が語る サステナビリティ、慈善活動、社会へのポジティブな影響を与えること

By チョイ・ヨーコ

2023 年 11 月 14 日

COVER キャロライン・ショイフレがクチュールコレクションに命を吹き込む様子(写真:ショパール提供)

ショパールの共同社長兼アーティスティック・ディレクターであるキャロライン・ショイフレと、実業家 神原未綺の息子であり、amfAR の最年少副会長の一人である神原伸太郎が、ジュエリー、ファッション、アート、慈善活動の関係性について、タトラーに語ります

ショパールの毎年恒例のレッドカーペットコレクションは、アート、映画、ハイジュエリーの祭典です。カンヌ国際映画祭で発表された各テーマコレクションは、このメゾンの芸術への献身、職人技、コラボレーションの精神を物語っています。

ショパールの共同社長兼アーティスティック・ディレクターであるキャロライン・ショイフレは、ファッションとハイジュエリーを融合させた初のクチュールコレクション

「Caroline's Couture」を発表し、さらに一歩前進しようとしてしました。今年 5 月のカンヌ国際映画祭で初披露された 50 のクチュールシルエットは、環境への責任に配慮しながら、着心地の良さを表現しています。「ドレスアップしてドレスダウンできるものを作りたかった [...]まさにカメレオンのような変身です。そして、それこそが私が達成したかったことです」と彼女はタトラーに語ります。クチュールとジュエリーのコレクションは、ショパールのランドマークプリンスビルディングストアの 1 周年を記念して、10 月下旬に香港に上陸しました。

こちらもお読みください: ショパール、環境に優しいルーセント スティールの使用を拡大

写真 1/3 ショパール共同社長兼アーティスティック・ディレクターのキャロライン・ショイフレと、Kambara Art Studio および Kambara Art 代表の神原伸太郎(写真:Jocelyn Tam / Tatler Hong Kong)

写真 2/3 レッドカーペットコレクションのショパールダイヤモンドイヤリング (写真:ショパール提供)

写真 3/3 レッドカーペットコレクションのショパール サファイア ネックレス(写真:ショパール提供)

キャロラインのクチュールの最も顕著な特徴の 1 つは、コラボレーションの精神にあります。ショイフレは、インドのラクナウにある、刺繍のトレーニングを通じて恵まれない女性に力を与える施設である Kalhath Institute と協働しました。このプロジェクトは、600 人

以上の女性の人生を変え、その職人技は、精巧なデザインと繊細な手仕事を通じて、キャロラインのクチュールで輝きを放ちます。

他方、日本の実業家、神原未綺の息子で、家族がショパールの長年のサポーターである神原伸太郎が、タトラーとショイフレに、慈善活動、サステナビリティ、アートの世界への経験について語ります。この若き起業家のビジョンは、彼のアートへの情熱によって特徴付けられており、彼の会社である Kambara Art Studio と Kambara Art を通じてあらわされています。「私は昔からアートや美しいものが好きでした。Kambara Art が素晴らしいアートを世界と共有させていただくことで、社会のポジティブなスパイラルに少しでも貢献できればと願っています」と彼は言います。彼は、彼の家族とともにより広いコミュニティのための慈善活動に努めています。

ショイフレと神原は、創造性、社会的な意識、そして有望な未来への共同献身の調和のとれた融合を象徴しています。彼らの対話は、アート、ファッション、慈善活動の変革の力を掘り下げ、ショイフレと神原は日常の中に美を見出そうと努力しています。

写真 1/4 ブリンスビルにあるショパールの旗艦ブティックでのキャロライン・ショイフレ(写真:Jocelyn Tam / Tatler Hong Kong)

写真 2/4 ブリンスビルにあるショパールの旗艦ブティックでの神原伸太郎(写真:Jocelyn Tam / Tatler Hong Kong)

写真 3/4 ユニセフ・ソーシャル・アート・プロジェクトに参加する神原伸太郎(写真:神原伸太郎氏提供)

写真 4/4 ユニセフ・ソーシャル・アート・プロジェクトに参加する神原伸太郎(写真:神原伸太郎氏提供)

キャロライン、ジュエリーに関するあなたの専門知識は、あなたのデザインにどのような影響を与えていますか？

宝飾品や時計のビジネスから来ると、0.5 ミリメートルの違いを生みます。だから、ファッションデザイナーよりもずっと正確にデザインを見ています。その理由の一つは、私が別の世界から来たからで、そこでは私たちが使う原材料がとても高価です。その結果、素材への敬意が高まり、デザインへのアプローチにも影響が出ています。それはまた、私たちのサステナビリティへの取り組みや、私が、ジュエリーや時計と同じように、ファッションの世界にも影響を与えようと努力していることにもつながります。

伸太郎さん、お母様もあなたもショパールの忠実なサポーターです。ショパールのブランド価値に、どのように共感していますか？

ショパールのサプライチェーンはすべて持続可能で追跡可能です。何年にもわたって生き残ってきた企業は、すべて社会と世界に積極的に貢献し、変化するルールや制限の中で、時を超えて適応してきました。約 200 年にわたるショパールの歴史は、ショパールが世界

にもたらした価値の証であると思います。

ショパールの名前は、ある物語を思い出させます。天国はダイヤモンドのような美しい宝石で造られましたが、私たちが地上で目にするものはそのほんの一部にすぎません。だからこそ、人々は宝石にそのような価値を見出すのです。このことを念頭に置いて、神は聖なる世界の真の美しさを私たちに知らせるために、宝石を人々と分かち合った、というものです。もしこの話が本当なら、ショパールがジュエリーで行なわれているように、サステナブルで良心的な方法で調達・製造されたジュエリーの美しさを分かち合うことがさらに重要であろうと感じます。

写真 1/6 カンヌでの「Caroline's Couture」ファッションショー(写真:ショパール提供)

写真 2/6 カンヌでの「Caroline's Couture」ファッションショー(写真:ショパール提供)

写真 3/6 カンヌでの「Caroline's Couture」ファッションショー(写真:ショパール提供)

写真 4/6 カンヌでの「Caroline's Couture」ファッションショー(写真:ショパール提供)

写真 5/6 カンヌでの「Caroline's Couture」ファッションショー(写真:ショパール提供)

写真 6/6 カンヌでの「Caroline's Couture」ファッションショー(写真:ショパール提供)

キャロライン、ショパールは長い間、映画芸術を支援してきましたが、今年のレッドカーペットコレクションは、さまざまな形の芸術にインスパイアされています。その制作プロセスについて教えてください。

インスピレーションは、彫刻、文章、音楽、ダンス、映画など、7つの異なる芸術からなっています。私が最初にこのアイデアをチームと共有したとき、彼らは「では、どのように文章を描くのか」と尋ねました。

最終的に、羽根を使った古い書き方を表す羽根付きの美しいネックレスを作りました。当初、彼らは翻訳が難しいと感じていました。しかし、その後、それはとても楽しく、ダイナミックなプロジェクトになりました。既成概念にとらわれずに考える必要がありました。

伸太郎さんは、Kambara Art Studio と Kambara Art の代表として、芸術への情熱をお持ちですね。この情熱の原動力は何で、今後の仕事にどのように取り入れたいですか？

自分の存在意義や、社会に残せるものは何かをずっと考えて参りました。例えば、割れたガラスを路上に残しておくと、落書きやポイ捨てが増える可能性があります。街灯が壊れていると犯罪が増加し、より多くの人が破壊やポイ捨てをする可能性があります、事態は下降スパイラルに陥ります。逆に、街路が手入れされていれば、落書きやゴミのポイ捨て、場合によっては、犯罪もなく、自然に街路をきれいに保ち、正味のプラスの効果をもたらす可能性があります。私は昔からアートや美しいものが好きで、Kambara Art を通じて素晴ら

しいアートを世界と共有させて頂くことで、社会のポジティブなスパイラルに幾分でも貢献させて頂くことができたかと希望しております。ショパールほどのことはできませんが、できる限りのことをさせていただければと考えています。

写真 1/5 フェアマイニング認定の 18K ホワイトゴールド製ショパール レッドカーペット コレクション ブリリアントカット サファイアネックレス。ダイヤモンドとサファイアをあしらったブローチとイヤリングからなる取り外し可能なフェザーが特徴(写真: ショパール提供)

写真 2/5 パリ・ファッション・ウィーク 2023 で発表されたレッドカーペットコレクションのショパール ブルーサファイア リング(写真: ショパール提供)

写真 3/5 パリ・ファッションウィーク 2023 で発表されたレッドカーペットコレクションのショパールイエローダイヤモンドネックレス(写真:ショパール提供)

写真 4/5 パリ・ファッション・ウィーク 2023 で発表されたレッドカーペットコレクションのショパール オパール ネックレス(写真: ショパール提供)

写真 5/5 パリ・ファッションウィーク 2023 で発表されたレッドカーペットコレクションのショパールダイヤモンドネックレス(写真:ショパール提供)

キャロライン、今年はインドの Kalhath Institute とコラボレーションされましたね。研究所とのつながりと、なぜ研究所と仕事をするようになったのか教えてください。

「Caroline's Couture」を立ち上げた 2 人は、ファッション業界で長年活躍してきたプロフェッショナルです。そのうちの 1 人は、インドで(国の)美しい地元の生地で多くの仕事をしてきました。5、6 年ほど前、当初は数人の女性だけでスタートした施設を設立しました。現在、600 人以上の女性が関わっており、貧困から抜け出すだけでなく、他の人に教える力を与える素晴らしい刺繍作品を生み出しています。

伸太郎さん、あなたとあなたの家族も慈善活動に情熱を注いでいます。あなたは amfAR カンヌで最年少の副会長を務めました。その経験はどのようなものでしたか？

私の家族はいつも慈善活動に熱心に取り組んで参りました。2016 年、私は当時最年少で amfAR カンヌの副会長に就任させて頂きました。amfAR では、私が思っていた以上に、社会貢献に熱心な方がたくさんいらっしゃることに感銘を受けました。慈善活動は、他の人と協力して行わせて頂くことで、指数関数的に効果的になりうるということを学びました。

キャロライン、あなたのクチュールデザインは、着用者が長年にわたって所有し、使用することを目的としています。このコンセプトはどのようにして生まれたのですか？

カンヌに 26 年間参加してきて、数多くのイベントに行ってきました。幸運なことに、私には、私が家に帰ったら着るであろうデザインの服を着せてくれるデザイナーの友人がた

くさんいます。しかし、多くのお客様は、一度だけ着る非常に派手なドレスを着て参加し、そのドレスは引退して永遠に食器棚に仕舞われていることを知っています。私は、用途が広く、さまざまな衣装と簡単に組み合わせられるクチュールを作りたかったのです。旅先では実用性が重要なので、ドレスシーでありながら順応性のあるものを目指しました。時代を超越した小さな黒いドレスは、見事なネックレスとハイヒールで、カメレオンのような変身を遂げることができます。それが私の目標でした。

写真 1/5 カンヌでの「Caroline's Couture」ファッションショー(写真:ショパール提供)

写真 2/5 レッドカーペットコレクションのショパールツアボライトイヤリング (写真:ショパール提供)

写真 3/5 「Caroline's Couture」コレクションのスケッチ(写真:ショパール提供)

写真 4/5 「Caroline's Couture」コレクションのスケッチ(写真:ショパール提供)

写真 5/5 「Caroline's Couture」コレクションのスケッチ(写真:ショパール提供)

伸太郎さんは、神原インターナショナルでの今後の役割をどのように考えていますか?組織にどのような新しいビジョンをもたらしたいですか?

私の母は、神原インターナショナルの現社長で、経験豊富なリーダーの方々と仕事をさせて頂いて参りました。これらの方々の若い頃は、時間がゆっくりと流れ、物事、人、人生について考える時間があつたようです。しかし、今日、インターネットにより指先で情報が溢れ、圧倒されるのは簡単です。経験のある方々でも、正しい判断を迅速に下すのは難しい場合があります。若い世代にとってはなおさら難しいことですが、昔と違って、今の若い人たちは、社会により大きな影響を与えようと努力しています。そのような若者の一人として、経験豊富なリーダーの方々と協力して、現在および近い将来、社会をより良くする真に有用な活動の立ち上げに貢献させて頂くことが私の目標です。

人々を正しい方向に導いた偉大なリーダーは常におられました。今の時代、より多くのリーダーの方々が、より頻繁に、より深いレベルで交流されることが不可欠だと考えています。この度、神原インターナショナルは ANA ビジネスジェット株式会社と業務提携契約を締結しました。日本企業のブランド力の強化や、業界を超えたビジネスリーダーの方々の国際交流の促進に特化させて頂くことで、壁を打ち破り、固定観念を打ち破るような社会にとって有意義な何かを生み出すことに貢献させて頂くことができればと期待しています。

キャロライン、企業のビジネス面とクリエイティブ面をシームレスに統合するあなたの能力は印象的です。若い起業家にアドバイスをお願いします。どうすれば同じようなバランスを実現できるでしょうか?

伸太郎は、とても賢明なことを言った。私はできるだけインターネットから離れるだろう

[...] 若い世代にアドバイスをするのであれば、人と人とのふれあい、意見交換や顔を合わせて話すことがとても大切だということです。コロナ禍では、残念ながらバーチャル会議に制限されていました。そして、議題の内容を正確に話すことしかできません。そこでは創造的になることが困難です。それは、人と直接会って初めて起こります。それはあまり構造化されておらず、厳格ではなく、あなたがそれを感じるから起こるのです。

こちらもお読みください

ショパール、環境に優しいルーセントスティールの使用を拡大

ショパールがサステナブルなラグジュアリーを最優先事項にした方法

2023 年に予定されている 5 つのハイジュエリーコレクション